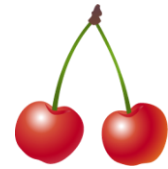


チェリーの会だより



発行者 公立那賀病院内 乳がん患者会「チェリーの会」

2012年6月23日発行 NO. 18



シカゴの学会へ行ってきました✈

アメリカ・シカゴといえば、ジャズ、ブルース、ピザ、マクドナルドの本店・・・とアメリカ文化が満載の町。そのシカゴで、2012年6月1日から開かれた「米国臨床腫瘍学会ASCO2012」に、谷野裕一先生が出席されました。先生にとってアメリカの学会は、二年半ぶり。そこでたっぷり勉強された最新情報を6月16日のチェリーの会でお話してくださいました。



今回の目玉は、ハーセプチン+タキサンに抵抗性のある再発乳がんに対して、タイケルプとゼローダの併用より T-DM1 (ハーセプチンに抗がん剤をくっつけた新薬)の方が大きな効果があったという EMIRIA 試験の結果だそうです。また、新しい分野の薬(分子標的治療薬、イレッサもその一つ)で、これまでの抗がん剤が余り効かない骨肉腫が治った事例があるそうです。これからは、

たくさんの人に効く薬というより少数の人でも治る薬、どの人にどの薬が効くのかをさぐる段階にきているとのことでした。

谷野先生は、「日本は患者さんの多くが、いい治療のうけられる恵まれた国。でも、日本で新しい薬の臨床試験を行おうとすれば、いくつものハードルがあって難しい。また、腫瘍内科医が少ないため、せっかくの薬も副作用をコントロールできないため、薬が効く前に投薬を中止している現状が残念。」と、熱く語っていました。

学会に出席され、またまたエネルギー満タンの DR・谷野ですね。いつも、ありがとうございます。



ちょっと難しいお話(@_@;)でしたが、みなさん熱心に聞いていました。



今回のチェリーの会には 21人もの方々が参加していただきました。



いつも笑顔でいたいな

～ ドラマ「カーネーション」を観て ～



今年の3月まで放送されていたNHKの朝のドラマ「カーネーション」。舞台が大阪の岸和田ということで、親しみを感じながら観ていらっしゃった方々も多かったのではないのでしょうか。

最終回の前の週は、「奇跡」というタイトルでした。主人公の糸子の通院する病院で、ファッションショーをする内容でした。そこで、2人の幼い子どもがいる末期がんと診断されたお母さんが登場しました。そのお母さんが、ファッションショーに出て、キャットウォークを歩き、はじける笑顔で、

「私は三ヶ月前に、末期ガンと診断されました。・・・でも決めました。私は幸せになります。みんな、見ててね！私は、今もこれからも絶対幸せです！」

と言って、持っていたバスケットから花びらをまいて、フラワーシャワーをするシーンがありました。

苦しさをのりこえようとする姿に胸が熱くなる想いでした。どんな時も笑顔でいたいですね。

足湯でほわっと♡



城崎温泉にて

ちょっとした時間ができたので、前から行きたかった城崎温泉に行ってきました。城崎温泉は、浴衣を着て「外湯めぐり」が有名ですね。訪れてみて目にとまったのは、町のあちらこちらにある無料の「足湯」でした。歩き回ってつかれた足をお湯につけて10分もすると、ほわっと軽くなる感じでした。

足湯は江戸時代から知られていた入浴法だそうで、足の血行をよくし、冷え性や全身のリラックスなどに効果があるとされています。本を読みながら、テレビをみながら、音楽を聴きながら・・・「足湯」を楽しまれてはいかがでしょうか。

☆自宅で足湯をする方法

○用意するもの

- ・バケツ ・お湯 ・温度計 ・タオル
- ・やかん(足し湯用) ・ビーチマット(バケツの下に敷く)

- ① 「くるぶし」の3～4cm上ぐらいまで、お湯を入れる。
- ② 湯の温度は、38～42度くらい。冷めると効果がないので、足し湯をする。
- ③ 15～20分くらい足をつける。

お知らせです

ONHKスペシャル

検証・日本のがん医療

～患者が安心できるために～(仮)

6月30日(土) 午後7時30分～8時43分

谷野先生が出演します。

お見逃しなく！

